

第八回 国会 社会効働委員会議録 第十号

(一九七)

昭和五十二年四月十四日(木曜日)
午後三時五分開議

出席委員

委員長 橋本龍太郎君
理事 斎藤滋与史君
理事 中山正暉君
理事 枝村要作君
理事 大橋敏雄君
理事 相沢英之君
伊東正義君
大坪健一郎君
小坂徳三郎君
津島雄二君
友納武人君
山口シヅエ君
金子みつ君
渋沢利久君
森井忠良君
平石磨作太郎君
工藤晃君
川本敏美君
田口一男君
草川昭三君
浦井洋君
湯川宏君
渡辺美智雄君
河村次郎君

理事 戸井田三郎君
理事 葉梨信行君
理事 村山富市君
理事 和田耕作君
井上裕君
石橋一弥君
川田正則君
戸沢茂君
羽生田進君
湯川宏君
渡辺美智雄君
河村次郎君

理事 戸井田三郎君
理事 斎藤滋与史君
理事 中山正暉君
理事 枝村要作君
理事 大橋敏雄君
理事 和田耕作君
井上裕君
石橋一弥君
川田正則君
戸沢茂君
羽生田進君
湯川宏君
渡辺美智雄君
河村次郎君

る法律案を議題といたします。
これにて本案についての質疑は終了いたしました。
ただいままでに委員長の手元に、戸井田三郎君、村山富市君、村山富市君、大橋敏雄君、和田耕作君、浦井洋君及び工藤晃君から、本案に対する修正案が提出されておりますので、その趣旨の説明を聴取いたします。戸井田三郎君。

戦傷病者戦没者遺族等援護法等の一部を改正する法律案に対する修正案
〔本号末尾に掲載〕

戦傷病者戦没者遺族等援護法等の一部を改正する法律案に対する修正案
〔本号末尾に掲載〕

○橋本委員長 ただいま議題となりました戦傷病者戦没者遺族等援護法等の一部を改正する法律案に対する修正案につきまして、自由民主党、日本社会党、公明党、国民会議、民社党、日本共産党・革新共同及び新自由クラブを代表いたしまして、その趣旨を御説明申し上げます。
修正の要旨は、本法律案中「昭和五十二年四月一日」施行となつている戦傷病者戦没者遺族等援護法による障害年金、遺族年金等の額に関する改正規定及び未帰還者留守家族等援護法による留守家族手当の改正規定については、これを「公布の日」から施行し、「昭和五十二年四月一日」から適用することであります。
何とぞ委員各位の御賛同をお願いいたします。

本日の会議に付した案件
戦傷病者戦没者遺族等援護法等の一部を改正する法律案(内閣提出第三八号)

○橋本委員長 これより会議を開きます。
戦傷病者戦没者遺族等援護法等の一部を改正する法律案(内閣提出第三八号)

ります。

まず、戸井田三郎君外五名提出の修正案について採決いたします。
本修正案に賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○橋本委員長 起立総員。よって、本修正案は可決されました。

次に、ただいまの修正部分を除いて原案について採決いたします。

これに賛成の諸君の起立を求めます。
〔賛成者起立〕

○橋本委員長 起立総員。よって、本案は修正案が提出されると決しました。

○橋本委員長 起立総員。よって、本案は修正案が提出されると決しました。

○橋本委員長

この際、戸井田三郎君、村山富市君、大橋敏雄君、和田耕作君、浦井洋君及び工藤晃君から、本案に対し附帯決議を付すべしとの動議が提出されおりました。

○橋本委員長 この際、戸井田三郎君、村山富市君、大橋敏雄君、和田耕作君、浦井洋君及び工藤晃君から、本案に対し附帯決議を付すべしとの動議が提出されおりました。

○橋本委員長 私は、自由民主党、日本社会党、公明党、国民会議、民社党、日本共産党・革新共同及び新自由クラブを代表いたしまして、本動議について御説明申し上げます。

案文を朗読して説明にかえさしていただきま
す。

戦傷病者戦没者遺族等援護法等の一部を改
正する法律案に対する附帯決議(案)

政府は、次の事項につき、格段の努力を払う
べきである。

一 第二次大戦末期における閣議決定に基づく
國民義勇隊、國民義勇戰闘隊の組織、活動状
況及び旧義勇兵役法・國民義勇戰闘隊員に対
する陸軍刑法等の適用に関する法律の実施状

況を明確にし、公平適切な援護措置をとりうるよう検討すること。

一 旧防空法による組織及び活動状況について明確にするとともに、警防團員等に対する援護法上の取扱いについては、戦後相当期間経過していることにかんがみ、その認定方法等について弹力的に運用するよう配慮すること。

一 满洲開拓青年義勇隊員等の実状について更に調査を行い、処遇の改善について検討すること。

一 最近の物価の上昇及び国民の生活水準の著しい向上にみあつて、援護の水準を更に引き上げ、公平な援護措置が行われるよう努めること。

一 戰傷病者に対する障害年金等の処遇及び爆症等内科的疾患の認定基準については、更にその改善に努めること。

一 戰傷病者に対する障害年金等の処遇及び爆症等内科的疾患の認定基準については、更にその改善に努めること。

一 生存未帰還者の調査については、更に関係方面との連絡を密にし、調査及び救出に万全を期すること。

一 法律の内容について必要な広報等に努める等更にその周知徹底を図ること。

一 戰傷病者相談員、戦没者遺族相談員の処遇の改善について検討すること。

以上であります。
何とぞ委員各位の御賛同をお願いいたします。
○橋本委員長 本動議のごとく決するに賛成の諸君の起立を求めます。

○橋本委員長 起立総員。よって、本案について

は戸井田三郎君外五名提出の動議のごとく附帯決議を付することに決しました。

この際、厚生大臣から発言を求められておりましたので、これを許します。渡辺厚生大臣。

○渡辺國務大臣　ただいま御決議になられました附帯決議につきましては、その趣旨を十分に尊重いたしまして努力をいたす所存でございます。

○橋本委員長　なお、ただいま議決いたしました

本案に関する委員会報告書の作成等につきましては、委員長に御一任願いたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔異議なし」と呼ぶ者あり〕

○橋本委員長　御異議なしと認め、さよう決しました。

〔報告書は附録に掲載〕

○橋本委員長　次回は、明十五日金曜日午前九時五十分理事会、十時委員会を開会することとし、本日は、これにて散会いたします。
午後三時十一分散会

戦傷病者戦没者遺族等援護法等の一部を改正する法律案に対する修正案
戦傷病者戦没者遺族等援護法等の一部を改正する法律案の一部を次のように修正する。
附則第一条を次のように改める。
(施行期日等)

第一条　この法律の規定は、次の各号に掲げる区分に従い、それぞれ当該各号に定める日から施行する。

一　第一条、第四条、第六条、第九条、第十二条及び附則第六条の規定　公布の日
二　第一条、第五条及び次条の規定　昭和五十

二年八月一日

三 第七条、第八条、第十条及び附則第五条の規定　昭和五十二年十月一日

四 第三条、附則第三条及び附則第四条の規定　昭和五十二年十一月一日

2 次の各号に掲げる規定は、昭和五十二年四月一日から適用する。

一 第一条の規定による改正後の戦傷病者戦没者遺族等援護法（以下「遺族援護法」という。）第八条第一項から第三項まで及び第七項、第二十六条第一項、第二十七条规定及び第三項並びに第三十二条第三項の規定

二 第四条の規定による改正後の未帰還者留守家族等援護法第八条の規定

三 第六条の規定による改正後の戦傷病者戦没者遺族等援護法の一部を改正する法律（昭和四十六年法律第五十一号）附則第十八条の規定

四 第十一条の規定による改正後の戦傷病者戦没者遺族等援護法等の一部を改正する法律（昭和四十六年法律第五十一号）附則第八条の規定

五 第十六条の規定による改正後の戦傷病者戦没者遺族等援護法（以下「遺族援護法」という。）を「遺族援護法」に改める。